



Sun™ Control Station 2.2

Inventory モジュール

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-1427-10
2004 年 12 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Java, JavaServer Pages, JSP, JumpStart, Netra, Sun Cobalt, Sun Cobalt RaQ, Sun Cobalt CacheRaQ, Sun Cobalt Qube, Sun Fire, および Ultra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われえないものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Control Station 2.2 Inventory Module
Part No: 819-0444-10
Revision A



目次

Inventory モジュール	1
Inventory モジュールのインストールについて	1
「目録」メニュー	2
ハードウェア目録	2
管理対象ホストの選択	3
ハードウェア目録の表示	3
ソフトウェア目録	6
管理対象ホストの選択	6
ソフトウェア目録の表示	7
更新	8
目録データの更新	8

Inventory モジュール

Sun™ Control Station の Inventory モジュールでは、各ホスト内のハードウェアコンポーネントとソフトウェアコンポーネントに関する詳細な情報が提供され、管理対象ホスト内のハードウェアとソフトウェアを追跡できます。Inventory モジュールの機能により、次のことが可能になります。

- 各管理対象ホストのハードウェアおよびソフトウェアの各目録を表示する
- 利用可能なハードウェアおよびソフトウェアのコンポーネントの表示を更新する

注 – このマニュアルでは、読者が Sun Control Station の基本操作を理解していると想定して説明します。状態アイコン、選択ウィンドウ、スケジューラ、「タスクの進捗状況」ダイアログなど、Sun Control Station の基本的な機能の概要については、『Sun Control Station 2.2 管理者マニュアル』を参照してください。

Inventory モジュールのインストールについて

デフォルトでは、Inventory モジュールは Sun Control Station のコアソフトウェアの一部としてインストールされます。コアソフトウェアのインストール後に Inventory モジュールを追加する場合は、次の方法のいずれかを使用できます。

- Sun Control Station のモジュール追加機能。メニューで「管理」→「モジュール」を選択します。『Sun Control Station 2.2 管理者マニュアル』を参照してください。
- コントロールステーションサーバーの `moduleMgr.pl` ユーティリティ

インストール時に、クライアントコンポーネント、invengen および client_inventory が各管理対象ホストにプッシュされます。これらのクライアントコンポーネントによって情報が収集され、管理対象ホストのファイル inventory.current に書き込まれます。

「目録」メニュー

各管理対象ホスト内のハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの追跡に使用可能な機能は、「目録」というメニュー項目に集約されています。目録機能は、グラフィカルインタフェースの左側の列にある「目録」メニューから使用できます (図 1 を参照)。



図 1 「目録」サブメニュー項目

「目録」メニュー項目を展開すると、次の目録機能にアクセスできます。

- ハードウェア目録 (「ハードウェア目録」を参照)
- ソフトウェア目録 (「ソフトウェア目録」を参照)

ハードウェア目録

「Hardware Inventory」メニュー項目により、ハードウェア目録を表示する管理対象ホストを選択できます。「管理対象ホストの選択」を参照してください。ハードウェアコンポーネントの表示を更新することもできます。更新機能に関する詳細は、「更新」を参照してください。

管理対象ホストの選択

ハードウェア目録を表示する管理対象ホストを選択する手順は、次のとおりです。

1. 「目録」→「Hardware Inventory」を選択します。

選択ウィンドウに「ハードウェアの管理ホスト目録を選択」テーブルが表示されます (図 2 を参照)。

2. リスト内からホストを 1 つ選択します。

適切なホストの左側にあるチェックボックスをクリックして選択します。

注 – 選択できるのは、一度に 1 つのホストだけです。テーブルの上部にある「すべてを選択」ボタンは、目録機能では使用されません。複数のホストを選択すると、エラーが発生します。誤って複数のホストを選択した場合は、「すべての選択を解除」ボタンでチェックボックスをクリアすれば、1 つのホストだけを選択できます。



図 2 「ハードウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル

ハードウェア目録の表示

管理対象ホスト内のハードウェアコンポーネントの目録を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「目録」→「Hardware Inventory」を選択します。

選択ウィンドウに「ハードウェアの管理ホスト目録を選択」テーブルが表示されます。このテーブルに、管理対象ホストのリストが表示されます (図 2 を参照)。

2. テーブル内から管理対象ホストを 1 つ選択します。

詳細については、「管理対象ホストの選択」を参照してください。

3. 選択ウィンドウの下部にある「目録の表示」をクリックします。

ハードウェア目録テーブルに、選択したホストのハードウェア目録が表示されます。
図 3 にテーブルの例を示します。

ホスト情報							
IP	ホスト	エイリアス	ID	DNS	NIS	ブート	時間帯
192.168.0.35	station	-	a8c02300	-	(none)	Fri Dec 17 16:33:53 2004	JST

システム情報						
モデル	Arch	OSバージョン	シリアル	名前	MAC	ConditionalProperties
Unknown	i686	Linux 2.4.9-e.40	Unknown	eth0	00:C0:9F:2B:C3:34	C

CPU 情報				
ベンダー	速度	レベル	モデル	ファミリ
GenuineIntel	1999.836		Intel(R) Celeron(R) CPU 2.00GHz	15

ファイルシステム情報						
タイプ	合計ブロック	空きブロック	NSU ブロック	ノード	ファイル長さ	スペース
61267	9580459	8790177	8303508	4872896	255	32435

メモリー情報				
合計メモリー	空きメモリー	共有メモリー	合計スワップ	空きスワップ
512736 kB	413108 kB	384 kB	522104 kB	522104 kB

図 3 ハードウェア目録テーブル

ハードウェア目録テーブルは、次の各部に分かれています。

- 「ホスト情報」には、次の情報が表示されます。
 - 「IP」 - ホストの IP アドレス
 - 「ホスト」 - ホスト名
 - 「エイリアス」 - ホストのエイリアス
 - 「ID」 - ホストの ID
 - 「DNS」 - DNS サーバー (使用されている場合)

- 「NIS」 - NIS サーバー (使用されている場合)
- 「ブート」 - 前回マシンが起動された時刻
- 「時間帯」 - ホストのタイムゾーン
- 「システム情報」には、次の情報が表示されます。
 - 「モデル」 - ホストのシステムモデル
 - 「Arch」 - ホストのアーキテクチャ
 - 「OS バージョン」 - ホストで実行されているオペレーティングシステムおよびバージョン
 - 「シリアル」 - ホストのハードウェアのシリアル番号
 - 「名前」 - MAC で使用されるポートのインタフェース名
 - 「MAC」 - ホストの MAC アドレス
 - 「ロケール」 - ホストのロケール
- 「CPU 情報」には、ホスト内の各 CPU について、次の情報が表示されます。
 - 「ベンダー」 - CPU ベンダー
 - 「速度」 - CPU 速度
 - 「レベル」 - CPU レベル
 - 「モデル」 - CPU モデルの説明
 - 「ファミリ」 - CPU ファミリ
- 「ファイルシステム情報」には、次の情報が表示されます。
 - 「タイプ」 - ファイルシステムのタイプ
 - 「合計ブロック」 - ファイルシステムのブロックの合計数
 - 「空きブロック」 - 空きブロックの数
 - 「NSU ブロック」 - スーパーユーザー以外のユーザーのための空きブロックの数
 - 「ノード」 - ノードの合計数
 - 「ファイル長さ」 - ファイルの長さ
 - 「スペース」 - 空き容量の合計 (MB)
- 「メモリー情報」には、次の情報が表示されます。
 - 「合計メモリー」 - ホストの合計メモリー
 - 「空きメモリー」 - 使用可能な空きメモリー
 - 「共有メモリー」 - 共有メモリーの容量
 - 「合計スワップ」 - スワップメモリーの合計
 - 「空きスワップ」 - 使用可能なスワップメモリー

ソフトウェア目録

「Software Inventory」メニュー項目により、ソフトウェア目録を表示する管理対象ホストを選択できます。「管理対象ホストの選択」を参照してください。ソフトウェアコンポーネントの表示を更新することもできます。更新機能に関する詳細は、「更新」を参照してください。

管理対象ホストの選択

ソフトウェア目録を表示する管理対象ホストを選択する手順は、次のとおりです。

1. 「目録」→「Software Inventory」を選択します。

選択ウィンドウに「ソフトウェアの管理ホスト目録を選択」テーブルが表示されます(図 4 を参照)。

2. リスト内からホストを 1 つ選択します。

適切なホストの左側にあるチェックボックスをクリックして選択します。

注 – 選択できるのは、一度に 1 つのホストだけです。テーブルの上部にある「すべてを選択」ボタンは、目録機能では使用されません。複数のホストを選択すると、エラーが発生します。誤って複数のホストを選択した場合は、「すべての選択を解除」ボタンでチェックボックスをクリアすれば、1 つのホストだけを選択できます。



図 4 「ソフトウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル

ソフトウェア目録の表示

管理対象ホスト内のソフトウェアコンポーネントの目録を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「目録」→「Software Inventory」を選択します。

選択ウィンドウに「ソフトウェアの管理ホスト目録を選択」テーブルが表示されます。このテーブルに、管理対象ホストのリストが表示されます (図 4 を参照)。

2. テーブル内からホストを 1 つ選択します。

詳細については、「管理対象ホストの選択」を参照してください。

3. 選択ウィンドウの下部にある「目録の表示」をクリックします。

ソフトウェア目録テーブルに、選択したホストのソフトウェア目録が表示されます。図 5 にテーブルの例を示します。

ソフトウェア情報		
現在のアイテム: 1-10		合計アイテム: 1108
ラベル	説明	リビジョン
4Suite	A collections of XML-related technologies for python	0.11-2
a2ps	Converts text and other types of files to PostScript	4.13b-15
adjtimex	A utility for adjusting kernel time variables.	1.11-5
alchemy	A multi-sourced configuration back-end.	1.0.18-1
alchemy-devel	Files needed for developing programs which use alchemist.	1.0.18-1
am-utils	Automount utilities including an updated version of Amd.	6.0.6-3
amanda	A network-capable tape backup solution.	2.4.2p2-4
amanda-client	The client component of the AMANDA tape backup system.	2.4.2p2-4
amanda-devel	Libraries and documentation of the AMANDA tape backup system.	2.4.2p2-4
amanda-server	The server side of the AMANDA tape backup system.	2.4.2p2-4

図 5 ソフトウェア目録テーブル

ソフトウェア目録テーブルには、各ソフトウェアコンポーネントに関する次の情報が表示されます。

- 「ラベル」 - ソフトウェアコンポーネントの名前
- 「説明」 - ソフトウェアコンポーネントの機能
- 「リビジョン」 - ソフトウェアコンポーネントのリビジョンレベル

更新

「ハードウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル (図 2) または「ソフトウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル (図 4) が表示される場合は、管理対象ホスト内のコンポーネントの目録リストを更新できます。

目録データの更新

管理対象ホストの ハードウェア目録または ソフトウェア目録のいずれかのリストを更新する手順は、次のとおりです。

1. 「目録」 → 「Hardware Inventory」、または「目録」 → 「Software Inventory」を選択します。

「ハードウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル (図 2) または「ソフトウェアの管理ホスト目録を選択」テーブル (図 4) が表示され、管理対象ホストのリストが示されます。

2. 適切なホストの左側にあるチェックボックスをクリックして選択します。

注 – 選択できるのは、一度に 1 つのホストだけです。テーブルの上部にある「すべてを選択」ボタンは、目録機能では使用されません。複数のホストを選択すると、エラーが発生します。誤って複数のホストを選択した場合は、「すべての選択を解除」ボタンでチェックボックスをクリアすれば、1 つのホストだけを選択できます。

3. テーブルの右下の「ただちに更新」をクリックします。

「タスクの進捗状況」ダイアログが表示されます。「タスクの進捗状況」ダイアログには、更新が正常に行われたかどうかを示す状態メッセージが表示されます。「イベントを表示」をクリックして更新イベントのリストを表示するか、「完了」をクリックして管理ホストの選択テーブルに戻ることができます。

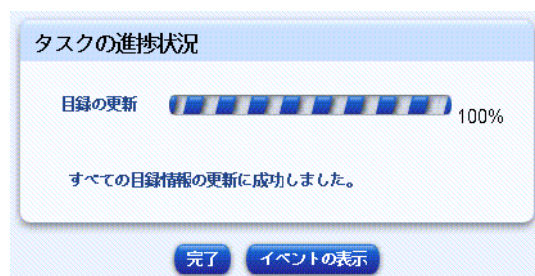


図 6 「タスクの進捗状況」ダイアログ

注 – 目録情報の更新に関するスケジュールは、後でも設定できます。スケジューリングと「タスクの進捗状況」ダイアログの詳細は、『Sun Control Station 2.2 管理者マニュアル』を参照してください。
